

拠出金名: アジア欧州財団 (ASEF) 拠出金

国際機関等名	アジア欧州財団 (英文名称・略称) Asia-Europe Foundation (ASEF)					
種別	国連本体	国連専門機関	その他			
所轄官庁担当局課名	外務省経済局アジア欧州協力室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単位	金額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート		
平成16年度	14,242	129		1US\$ =110円	3.5	0
平成15年度	17,551	144		1US\$ =122円	4.6	0
平成14年度	0					
拠出上位5ヶ国(1997年からの累積額)				当該基金の財政 (2004年度決算、なおシンガポールドルによる決算)		
	国名	(千ドル)	率(%)	当該年度の収入	7,235千星ドル	
1位	欧州委員会	4,681	15.0%	当該年度の支出	9,526千星ドル	
2位	日本	3,773	12.1%	次年度への繰越	17,399千星ドル	
3位	シンガポール	3,000	9.6%	会計検査機関名		
4位	韓国	1,994	6.4%	Ernst & Young 社		
5位	ドイツ	1,956	6.3%	(シンガポール所在の監査法人) (現在の構成員の出身国:シンガポール他)		
上記の率及び順位は2005年3月末のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ASEMの第3の柱(社会、文化、教育その他)において、アジア・欧州間の人的、知的、文化的交流のプロジェクトを行うことにより、アジア欧州間の交流を促進する重要な役割を果たしている。我が国からの拠出金はイヤマークされた分野の事業経費とされ、日本からの理事一名を含む理事会及び我が国の承認を得た上で執行されている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
ASEFでは、2004年に就任した新事務局長のもとで事業数及び一事業あたりの経費を削減する等合理化が図られている。また、財政運営及び今後の運営方針等については、日本からの理事一名を含む理事会執行委員会が精査しており、合理的かつ効果的な財団運営に努めている。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		31人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職員氏名		備考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
現状において具体的計画なし。						

(注)ASEFは我が国と同様の会計年度を採用しており、拠出率についても我が国会計年度に従って計算したものの。